

最新技術で快適な旧型客車を再現

昭和の古き良き時代の SL 列車が平成の現代によみがえる JR 西日本 35 系 4000 代「やまぐち号」客車

「レトロ調」ではない本物の旧型客車を現代の技で再現。戦前戦後の列車が今、山口の地を走る。



鉄道友の会より 2018 年最高峰のブルーリボン賞を受賞
JR 西日本 35 系 4000 代「やまぐち号」客車

旧型客車を復元する

2017 年 9 月 2 日午前 10 時。汽笛一声。多くの人々の歓声のなか、貴婦人とも呼ばれる蒸気機関車 C57 1 に引かれたその客車は走り出した。西日本旅客鉄道株式会社 35 系 4000 代やまぐち号客車だ。

幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーンに合わせ、老朽化した 12 系客車を一新させることが決まったのは 2015 年のこと。それまで走っていた客車は、「明治」「大正」「昭和」をイメージしたレトロ調に改造した 5 両編成の客車。展望車も連結されていた。

しかし、1970 年代に製造された客車のため老朽化が著しかった。今回新しく製造した 35 系 4000 代客車は、「最新技術で快適な旧型客車を再現」をコンセプトに、その昔走っていた「旧型客車」と呼ばれる

客車マイテ 49 形、オハ 35 形、オハ 31 形を忠実に復元させることが主目的となった。

復元させるといっても、現在の法令に合致していないこの車両たちを今の世に走らせることなど本当にできるのだろうか？ 今の法令のもとで古き良き時代の趣が本当に再現できるのだろうか？ そんななか、各地で新たな豪華列車も誕生し、その車両に使用するための木材などが新しい技術によりいろいろな部位に使えることも分かってきた。昔を知っている関係者が存命であり、昔の部品も作れることが分かった。側窓錠の鋳型が残っており、製作できる職人もいた。荷棚、

← 津和野



5号車スハテ 35 4001

4号車オハ 35 4001



側窓錠



C57 1 蒸気機関車

座席，タイル，洗面器も復元できるめどが立った。

こうして 35 系 4000 代客車は生まれることとなった。今，この時，この瞬間だったからこそできた客車である。

SL やまぐち号とは

国鉄時代の 1979 年 8 月 1 日に復活運転を開始した SL けん引による客車列車で，現在各地で運行されている SL 列車の草分けである。山口線の新山口駅（山口県）から津和野駅（島根県）までの 62.9 km を土・日・祝日を中心に運行されている。通常は C57 1 によりけん引されているが，検査時などに C56 160 が代走している日もある。2017 年からはデゴイチとして親しまれている D51 200 による代走も実施されるとのことで，客車の更新とともに話題となっている。車両の編成は 5 両 1 編成。

【1号車オロテ 35 4001】

保存されているマイテ 49 2 を再現した，展望デッキを備えたグリーン車である。マイテ 49 とは，1938 年 9 月に新製された洋風デザインの展望客車である。戦

後は進駐軍に接収された時期もある。

1961 年 2 月に廃車。翌年から交通科学館で展示されていたが，1987 年 3 月に現役復活し，イベント列車として走っている。

この車両を再現したオロテ 35 の車内は，4 人ボックス席と 2 人ボックス席のエリア，2 人掛けと 1 人掛けの回転リクライニング座席を配置したエリア，さらに展望室の 3 区画からなる。現在保存されている車両を当時の豪華さそのままに再現しており，展望車の



1号車 展望室

新山口 →



3号車ナハ 35 4001

2号車スハ 35 4001

1号車オロテ 35 4001

編成図



1号車 グリーン車内



2～4号車 普通車内

風格を醸し出している。

出入台（デッキ）付近には、乗務員室のほか、洋式トイレと洗面所が設置されている。当時のトイレは和式トイレにU字型の便座を敷いて洋式として使っていたが、さすがにこれは再現できず、今の真空式洋式トイレとなった（ほかの号車も真空式洋式トイレを採用）。

出入口の扉は、当時は内開き式の手動扉であったが、現在の法令上から自動開閉式の引き戸構造となった（ほかの号車も同様）。

車両の後方には展望デッキを当時のまま再現することで計画したが、現在の安全意識に照らし合わせ見栄えを損なわないで安全対策を施すこととなり、柵の高さを増し、柵の内側へガラス柵と手すりを設置した。

【2号車スハ 35 4001・3号車ナハ 35 4001・4号車オハ 35 4001】

2号車から4号車まではオハ 35 形を再現した普通座席車両となっている。35系客車とは、1939年に鉄道省が製造を開始した20m級鋼製客車である。

オリジナルとの重複を避ける目的で4000代とした。

客車内は、当時の4人ボックス席を再現しているほか、窓、よろい戸、荷物棚、天井灯具、床の木材なども忠実に再現されている。ただし、快適な旧型客車とするため、ボックス席には大型の固定テーブルが設置されており、食事などをしながら楽しく過ごせるようにした。

2号車には発電用エンジンを搭載し、編成全体のサービス電源および車両制御電源を賄っている。

3号車の半室はフリースペースとなっており、蒸気機関車の仕組みや、やまぐち号に関する展示スペースのほか、SL運転シミュレーターや投炭ゲーム、売店も設置されている。

2号車と4号車には、洋式トイレ、小便所がある。当時は、列車式便所といわれた和式で一段上がるタイル張り構造のトイレであったが、現在和式トイレは嫌われる傾向にあることから、タイルはそのまま、現在の使用環境に合わせた構造となっている。

洗面所は、当時の洗面器がすでに製造販売されておらず、保存車両の洗面器から型を作製、質感を残しつつ、繊維強化プラスチック（FRP）で製作した。当時取り付けられてあったたんづぼも再現されている。こちらももちろんタイル張りである。なお、当時のタイルと同じものはすでになく、近いサイズのものを利用している。



洗面所（ほぼ当時を再現している）

【5号車スハテ 35 4001】

オハ 31 系鋼製客車をベースに津和野側車端部に展望デッキを備えた普通座席車両である。31 系客車は 1927 年に鉄道省が製造を開始した 17 m 鋼製客車である。

復元した車両は 20 m 車両で、オハ 31 系にはなかった展望デッキも設置されている新形式の車両である。

屋根および構体構造は、その当時の車両を模し、屋根はモニターーフ（ダブルーフ）構造を再現した。

モニターーフとは、屋根の中央部を一段上げ、上がった屋根の側面から光を取り入れ、換気を行うことのできる屋根構造である。しかし今回はこの中に空調ダクトを設置することから、車外から光を取り込む窓を室内灯に利用し、その当時のイメージを損なわない工夫が施されている。側構体には、当時接合に使っていたリベット構造を再現するために、リベットを打ち込んだ帯を取り付けている。

客車は、2～4 号車までと同じ普通席であるため、4 人ボックス席となっている。

座席は当時を再現しており、背ずり（背もたれ）はクッションのない木製となっている。また、車いす対応座席も設置している。

31 系の特徴であった 1 ボックスあたり側窓 2 枚を残すようにした。シートピッチが拡幅しているため、実際のオハ 31 形よりも大きめの側窓となったが、当時の雰囲気を壊すことなく配置できた。

出入口付近には、乗務員室のほか、バリアフリー対応の多機能トイレ、多目的室（ベッド兼用座席付き）などを設置した。さらに予備の発電用エンジンが装備されており、2 号車のエンジンがダウンしてもバックアップを取ることができる仕組みになっている。

これから

製造期間が短く厳しい工程となり、完成までにはかなり苦勞した車両ではあるが、当時の面影を十分に再現できており、評判も上々である。新潟トランス株式会社にとって誇れる車両のひとつとなった。若手社員による設計・製造でこのような車両が完成できたことは喜ばしいことで、これからも時代から時代へ、ベテランから若手へ、技術伝承を続けていきたい。



5号車 普通車内



特徴である 2 連窓

ミニ解説

客車の形式の例 オロテ 35 4001

車両重量 オ	用途 ロテ	車種 35	製造番号 4001
(なし) 2 軸車	イネ 旧一等寝台車	形式（十位の数字）	詳細車種 区分と製 造順に付 けられる 追番
コ 22.5 t 未満	ロネ A 寝台車	1 軽量客車	
ホ 22.5 t 以上 27.5 t 未満	ハネ B 寝台車	2 固定編成客車	
ナ 27.5 t 以上 32.5 t 未満	イロ 旧一等車	3-5 一般型客車	
オ 32.5 t 以上 37.5 t 未満	ロ グリーン車	6 鋼体化客車	
ス 37.5 t 以上 42.5 t 未満	ハ 普通車	7 戦災復旧客車	
マ 42.5 t 以上 47.5 t 未満	シ 食堂車	8 和式客車	
カ 47.5 t 以上	テ 展望車	9 特殊客車	
	ユ 郵便車	形式（一位の数字）	
	ニ 荷物車	0-7 2 軸ボギー台車	
	ヤ 職用車、試験車	8・9 3 軸ボギー台車	
	エ 救援車		
	ヘ 病客車（現存せず）		
	ミ 軍務車（現存せず）		
	ヌ 暖房車（現存せず）		
	ル 配給車（現存せず）		

問い合わせ先

新潟トランス株式会社

営業部 大阪営業所

電話（06）7730-9854

<http://www.niigata-transys.com/>